

様式第2号（第5条関係）

平成28年 2月24日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 榎崎 忠彦 

このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 28年 2月16日 ~ 28年 2月17日まで
- 2 旅 行 先 大坂
- 3 目 的 地方議員研究会「役所を動かす質問の仕方」
よりよい一般質問のために「基礎編・応用編」
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成 28年 2月 17日 10:00 ~ 16:30					
視 察 先	大坂					
調査事項	役所を動かす 質問の仕方					
対 応 者	元武雄市長 榎 啓祐					
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	よいよい一般質問のために「基礎編」 - 地方創成時代の地方議会と地方議員の役割 - 「地方議会」「地方議員」の存在観 1. 役場 職員から 2. 町長部局から 3. 町民から 頼りになる存在になるためには！ 「知識」をやること 「情報発信」をすること - 一般質問の役割 - 。 議場は政策の場である 。 行政の政治姿勢を問う 引き出す力 > 議員活動の本旨 提案する力 。 言いほらしにさせる 一般質問の対応状況の整理 (武雄市の取組み)					
番号	日 時	質問事項	質問者	担当者	質問内容 (具体的状況 確認)	進捗状況

5/5い一般質問のためは「応用編」

成功パターン

・導入

・冒頭

・提言 → 解答を求めない。

数字を含めデータを提示する

○ 事例・導入・地域所得の向上(地域振興)

生産年齢、子供の数、少子化、高齢化

冒頭、現在の政策、評価

提言、政策をふやしていく。

ー 一般質問のポイントー

1. 旬、切実(高齢化、少子化)

2. 地元、先達(視察)

3. 教育、子どもの貧困

4. 観光、移住元年(平成28年)

5. 共感

ー 政治家の定義ー

1. 変えること

2. チェンジ

よりよい一般質問のために【基礎編】

講師 樋渡啓祐氏（元武雄市長、樋渡社中CEO）

- ・地方創生時代の地方議会と地方議員の役割

「地方議会」「地方議員」の存在観、仕事は何か

どうみられているか 1. 役場、職員から

2. 町長部局から

3. 町民から

- ・議会を見てもらうためにすべきこと

観るに「存在」があるため

「知識」を積むこと

「情報発信」をすること

- ・一般質問によって役所では何が行われているか

対応状況の整理（武雄市の取り組み）

番号	日時	質問事項	質問者	担当者	質問内容	進捗状況
					↓ 具体的な状況 の確認	

- ・議員活動と一般質問の関係性

1. 議場は政策の場である

2. 行政の政治姿勢を問う

引き出す力

提案する力

> 議員活動の本旨

3. 言い方はよいにさせる

よりよい一般質問のために【応用編】

講師 樋渡啓祐氏（元武雄市長、樋渡社中CEO）

- ・市長として受けたよい質問と悪い質問

成功事例 1 導入

テーマ - 地域振興（地域所得の向上）

生産年齢人口、子どもの数等

2 賞賛

現在の政策評価

3 提案

政策をふやしていく

- ・一般質問と政策実現の関係

議員の役割 是非、修正

議論の前提 人生の追体験（自分の人生に置き換え
ストーリーにする）

グラフ（数値化）にして

- ・効果的な質問、役所を動かす質問とは

政治家の主義 1 変えること - フェンジ

- ・模擬議会～模擬答弁を行い助言します～

一般質問のポイント

1. 旬 切実なテーマ（高齢化、少子化、地域振興）

2 地元 先進地の取り組み

3 教育 子どもの貧困

4 観光 交流人口

5 共感 人・自然・文化